

令和2年度 第3回 防府市地域福祉推進協議会  
会議結果 [要旨等](#)

日 時	令和2年11月20日（金） 午前10時30分～午前11時45分
場 所	防府市文化福社会館 3階4号大会議室
出席者	<p>【委員】 草平委員、長谷川委員、石田委員、内田委員、山崎委員、齊藤委員、 佐甲委員、松永委員、池永委員、椎木委員、中村委員、山野委員、湯面委員、 西田宏江委員、山本委員、大下委員 （欠席：松村委員、河田委員、廣森委員、西田秀樹委員）</p> <p>【行政等】 防府市健康福祉部長 防府市社会福祉協議会常務理事</p> <p>【事務局】 防府市社会福祉課、防府市社会福祉協議会</p>
傍聴者	なし

※ 以下、会議結果については、発言等の要旨のみを簡略化しています。

## 1 開会

「防府市自治基本条例」及び「防府市審議会等の設置及び運営に関する要綱」に基づき、「公開」することを承認。

## 2 あいさつ

### <市健康福祉部長あいさつ>

第三回目ということで最終的なかたちを作る時期にきている。委員の皆様は協議、意見をいただき、修正の上、議員への説明会及び12月25日から約1か月間パブリックコメントを実施し、最終案を議会に上程する流れになる。

委員の皆様の関心なご意見を賜り、計画の完成に向け、進めてまいりたい。

## 3 議題

### (1) 第三次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画（素案）について

#### <事務局（社会福祉課）説明>

～【資料1】第三次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画（素案）

【資料2】市民アンケート調査及び住民座談会報告書

【資料3】「令和2年度第2回防府市地域福祉協議会以降に協議された意見・回答内容・説明」説明～

#### <委員A>

P30の基本理念のところに書き加えた「新型コロナウイルス感染拡大」のことは、記載場所を、「そうした点も・・・」の前に、「さらに、」等を加えて記載した方がわかりやすいのではないかと。

P31の基本目標のところは、一項目、5～6行にしてももう少しゆったり、丁寧に、重要な考え方の部分であると思うので、さらに少し練って書き加えてはどうか。

P78は、避難行動要支援者名簿の関係だが、自治会等による避難行動要支援者名簿の取得状況は進んでいない。自治連はもう少しこの状況をどうにかしようと、広報紙で周知して背中を押している。必要なのは、災害時の要配慮者がどこにいるかというマップを作ること。その印刷費などを補助できるような制度を社協で作ってほしい。今回、計画に載せるか載せないかは別として、今後そういう取組を考えていただきたい。

市には、要支援者名簿をどのように使っていくのかというのをマニュアルや手引きというものを作ってほしい、名簿だけ渡してやってくださいと言われても、対応がしづらいので、名簿をもらわないという自治会もある。

P82の支え合いネットワークの拡充の住民の取組のところに「地域の活動に関心を持ち、参加・協力するよう心がけます。」と同時に、「募金や寄附とかに理解して協力をします。」という文も入れてはどうか。

P84に「自治会単位の福祉活動が活発化するよう」とあるが、例えば、子ども食堂や高齢者に対するものなど自治会加入と関係ない福祉活動もあるが、自治会単位というと、自治会未加入者や脱会者もあるので、自治会としては、その中での活動になることを理解いただきたい。

計画書の最後の資料の用語解説について、「\*」やアンダーラインの整理を、もう一度確認していただきたい。

また、防府市では「安全・安心」というのか、「安心・安全」なのか、整理が必要ではないかと。

用語解説のP112「自主防災組織」について、防府市の防災危機管理課での言葉の定義の確認と、自主防災組織は、地震等の大規模災害だけではなく、災害に対応するために作るもので

あるので、見直しをお願いしたい。

<事務局（社会福祉課）>

P30の新型コロナのところは、御指摘の通り検討する。

P31の基本目標については、総合計画との整合性を図り調整する必要があるため、御理解いただきたい。

P78は、社会福祉協議会による災害マップ作製費への支援についてのことだが、今回、この中に記していけるかどうかも含め検討し整理したい。

P82は、募金活動への理解ということで、住民の位置づけや役割の中での記載に向けて修正できればと考える。

P84は、記載というよりは、御意見ということで、お聞きさせていただく。

用語の解説は、「安全・安心」など表現について、もう一回事務局の方で確認し修正したい。自主防災組織についても、市の防災危機管理課と協議し、正しい表現にする。

<議長>

P82の「募金や寄付に協力する」ということを行政が作るもの書き込むなら、市からではなく、住民側から「そうしましょう。」という意見が出たということではどうか。地域福祉計画は市民参加のもとで出来上がるもの。協議会ではそういう解釈でよいか。

<委員A>

協議会に自治会員、市民の方いるので、全ての方の理解があり、協力していただくという方向で書けたらよいと考える。

<委員B>

別冊（アンケート調査、地区座談会の報告書）について、素案のP17、「(3) 高齢者の状況」の「2 地区別の高齢化率の状況」で、この右田というのは、右田と玉祖を含めたものでないといけないものが、右田だけの数になっている。

別冊のP53「問34」の回答数と回答について、比較で、「全ての項目が下がっている」は、統計上ありえない。内容精査が必要。

別冊のP6のアンケート調査の中の項目に、「お住いの地区は」という項目があり、右田、玉祖と載っている。他の資料は、右田が、右田+玉祖となっている。少し他との整合性がとれないのではないか。

<事務局>

指摘のあった内容について、改めて確認する。

<委員C>

P47「ボランティア養成と活動の推進」について、介護支援のボランティア制度を行っている自治体がある。取り入れてはどうか。元気な高齢者を増やそうということである。ボランティアポイント付与制度などをしてはどうか。

広報について、「社協だより」は、中まで見るということになかなかならない。もう少し工夫してはどうか。市広報の中に入れて、そのまま続けて見られるようにしてはどうか。

<事務局>

元気な高齢者を増やす取組は防府市も担当課の方で実施している。ボランティアとのつながりについては、担当課と相談したい。

広報については、市広報と、社協だよりはそれぞれ別なものとして作成しており、一緒にするのは、難しいと考える。

<委員D>

包括支援センターでは、住民の方を主体としたサービスをしており、補助金を出す取組などを行なっている。ボランティアのポイントの付与は行っていないが、いろいろと取組を行っている。

<委員E>

計画の中の図というのは見やすくいいが、文章を正確に表しにくいところもある。

成年後見の差し替えのP72、P73のところ、P72は連携とあるが、P73は、協働とあるので、確認したい。

P12の「めざす地域福祉のイメージ図」の〈福祉総合相談窓口〉の下に※で相談支援包括化推進員によるコーディネートと記載してあるところについて、P60では、「相談支援機関との総合的なコーディネートを行う相談支援包括化推進員の配置に努める」とあり、図からすると、窓口の中で、コーディネートを行うところと違いが微妙だと感じる。

新しい庁舎ができた時の総合相談窓口というのは、本来的というと社協の方であり、窓口支援からいうと、地域には、コミュニティソーシャルワーカーが、ぽつぽつぽつといて、地域福祉の相談、ボランティアの相談をひっくるめた福祉の総合相談窓口ということで目指していくことになると思う。イメージとしては、たぶんこれで問題ないと思うが、絵にかくと、ここに「コーディネート」と置いていいのかどうか。書いた方が配置を進めていく上においてよいと思う。図に書くと逆に覚えてしまうところがあるので、そのあたりを検討いただきたい。

〈事務局（社会福祉課）〉

成年後見のところは、担当部署と相談し検討したい。

「目指す地域福祉」の図については、確かに「相談支援包括化推進員」は総合窓口で全てをコーディネートをするわけではなく、全ての相談窓口を連携させるためのコーディネートであり、検討したい。ただ、総合計画にも、この図を同じように使っていくため、調整したい。

〈議長〉

E委員にお尋ねする。P100の市の役割の中の「断らない相談支援体制」という表現について、厚労省自体は、「断らない相談支援体制」という言葉を使うのをやめたということだが、どうか。

〈委員E〉

やめるということまでいかなくて、検討するというところ。

〈議長〉

行政側としては断るつもりがなくても、市民側としては断っている、たらいまわし受けている感じがするという状況がある。ここは、例えば、「市民の課題に寄り添う」といった表現の方が適切と考える。行政は冷たくて、断ることを前提としてやっているという印象をこの言葉で感じてしまう。

〈事務局（社会福祉課）〉

修正したい。

## (2) その他

〈議長〉

【資料4】については、地区座談会のまとめとして、市民活動がどういうふうにあって、住民活動の中で地域の困り事に対してどのように協力しているかというところをまとめた。市民活動が盛んになってきていることがわかり、結論として書かせていただいた。これは、別冊の座談会のまとめというかたちで報告したい。

〈事務局（社会福祉課）〉

【資料4】については、別冊の中で座談会の報告として、まとめていきたい。

最後に、スケジュールについて、本日のご意見をまとめて、修正をし、来月議会で報告し、パブリックコメントを12月中旬から来年にかけて行う。出された意見を反映させながら、最終案として、議会に提案し、第三次の計画にしていきたい。

〈社会福祉協議会常務理事あいさつ〉

皆様、時間が制約された中で貴重なご意見、ご提案をいただき、大変な有意義な協議ができたことを感謝申し上げます。皆様からのご意見を参考とさせていただき、計画の策定を行いたい。また、新たな課題にもしっかりと対応していく。

本日は、誠にありがとうございました。